

■(7936)アシックス

アシックスは 1949 年、戦後荒んだ青少年の育成に貢献したいと考えた鬼塚喜八郎氏によって創業されましたが、社名の由来ともなっている創業哲学「健全な身体に健全な精神があれかし(ラテン語の「ANIMA SANA IN CORPORE SANO」が原語で、下線部を繋げると「ASICS」)」は、現在のブランド・スローガンである「Sound Mind, Sound Body」にも生きており、2030 年を見据えた VISION2030 でも、「誰もがー生涯、運動・スポーツに関わり、心と身体が健康で居続けられる世界の実現」を目指しています。

主力のランニングシューズはグローバルで競争力があり、欧州・豪州ではトップシェア、米国のランニング専門店シェアでも首位に迫るなど、海外売上高比率は 8 割超に上ります。

もともと高いブランド力がありましたが、2018 年に社長に就任した廣田康人現会長のもと、収益力の改善が急速に進み、非常に強靱な収益体質になりました。

現社長の富永満之氏は、デジタル・IT のグローバル企業での経験を有し、データドリブンの経営改善を実現しており、経営力としても高いレベルにあると言えます。

投資家の考えを理解してそれに正面から向き合う対話力、多様な経歴・バックグラウンドの人材が活躍する企業文化も素晴らしく、ここ数年で一気に日本を代表する企業に上り詰めた印象を受けています。

今後は、ランニングシューズのグローバルな競争力をさらに高めることはもちろん、さまざまな競技用シューズにもそのブランド力を活かしていくことや、プレミアムライフスタイルブランドとしての地位を確立しつつある「オニツカタイガー」ブランドの世界展開、さらにはデジタルを活用し、パーソナライズされたプロダクト・サービスを提供することで、単なるシューズメーカーの枠を超えた全く新しい顧客体験の実現に期待しています。

シニア・アナリスト/ESG リーダー 原嶋 亮介